

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	413広域行政の推進		
施策のねらい (めざす姿)	自治体間の広域的な連携により、行政が効率化し、市民の利便性や福祉が向上しています。		
基本目標	4計画の実現のために	施策担当マネージャー	総務企画部次長
政策	41計画の実現のために	マネージャー氏名	武田 秀一

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	国、県等の動向の把握・分析に努めながら、行財政運営の効率化、市民サービスの向上等が十分に発揮される枠組み・仕組みを検討していく。	③改革・改善内容	各市の共通課題となっている公共施設の共同利用など、広域的に取り組む課題について、東葛広域行政連絡協議会などにおいて調査研究を図る。 また、必要に応じて、国や県へ要望を行う。
②①に基づく取り組み結果	より効果的な広域連携について検討していく中で、先進市の視察や専門講師による研修会を実施し、近隣自治体間での情報共有を図った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民及び近隣自治体	意図(対象をどうするのか)	自治体間の広域的な連携により、行政の効率化や市民サービスを向上する。
②施策の概要	近隣自治体と連携し、広域的な共通課題に向けた取り組みについて検討を行うもの。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や人口減少が進展する中で、自治体ごとの行政サービスについて、広域的な視点によって、より効率的な運営を目指す必要が出てきている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27～28年度の施策の成果	千葉県市長会や東葛広域行政連絡協議会を通じて、国や県に対し広域的な行政課題に関する要望書を提出した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	共同処理事務数	件	5	5	5	増加
	ii	公共施設の共同利用数	件	0	0	0	増加
	iii	広域要望の実現度	%	0	0	0	増加
③基本事業成果指標	i	広域連携で行っている事業数	件	5	5	5	増加
	ii	広域要望の実現度	%	0	0	0	増加
	iii	合併及び政令指定都市に関する広報実施回数	回	0	0	0	増加
	iv						
	v						
vi							
vii							
viii							
ix							
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(28年度決算)	平成29年度予算			
事業費(千円)	106	169	(単位:円)	2円		184	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	少子高齢化や人口減少が進む中で、市民ニーズも多様化しており、柔軟な対応が図られるよう近隣自治体との連携をさらに強化していく必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	近隣自治体との国や県に対する要望活動、各市の行政課題に対する情報の共有化等によって広域的な連携がより深まったため。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑向上	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	広域行政に要する経費		
④上記方向性の説明	単一自治体では解決できない行政課題は、東葛広域行政連絡協議会などを活用して要望の実現を図ることで、行政の効率化や市民サービス向上を図る必要があるため。		